

放射線 たより *Radiation News*

Vol.15,2025(Jan)



地域の皆さまへ ～「放射線たより *Radiation News*」をお届けします！～

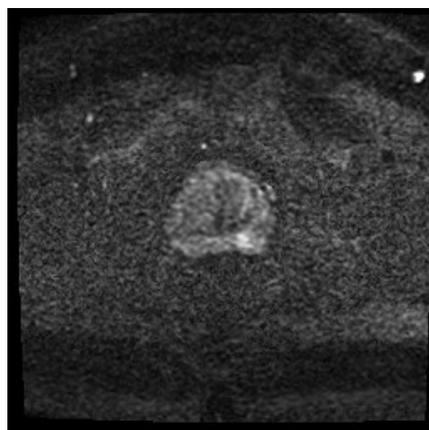
前立腺 MRI 検査について

当院の前立腺 MRI は、前立腺がんの診断精度向上に重要な PIRADS (Prostate Imaging Reporting and Data System) 基準を満たした撮像条件を整えています。PIRADS は、前立腺がんのリスク評価において重要な役割を果たす国際的なガイドラインのため、要求される撮像条件が厳しく当院では 3 テスラの MRI に、Deep Learning による最新のノイズ除去処理を組み合わせることによって高画質の画像を提供しています。

当院では、最新の技術を導入し、活用することで信頼性の高い画像を提供すると共に前立腺がんの早期発見に努めています。もし、該当する患者様がいらっしゃいましたら当院の MRI 検査をご利用下さい。

(参考) 当院の前立腺シーケンス

- T2WI(Axial, Sagittal, Coronal)
- T1WI(Axial)
- DWI(Axial)
- ADC map(Axial)



地域医療連携受付

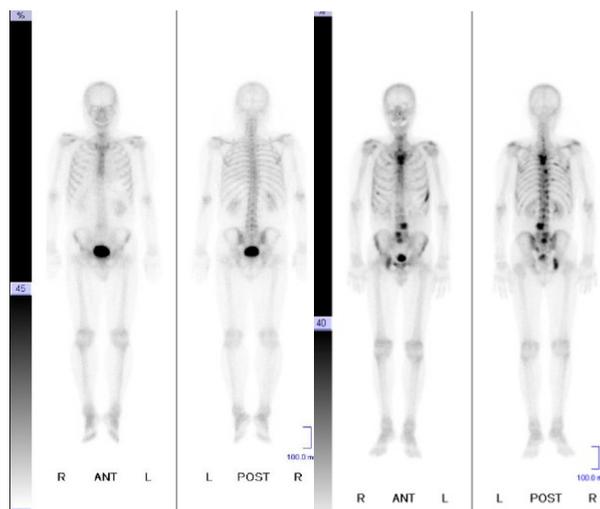
- ・ 電話 072-469-7835 (平日 9:00 から 18:00 まで 土曜日 9:00 から 12:00 まで)
 - ・ FAX 072-469-7931 (画像診断依頼用紙 兼 診療情報提供書をご記入の上 FAX をお願いします)
- ご不明点や診療の予約は地域医療連携室に電話で問い合わせいただくか、もしくは当院 HP をご覧下さい

骨シンチグラフィ検査について

骨シンチグラフィ検査とは、骨に特異的に集まる性質がある放射性医薬品（以下：RI）を体内に投与し全身骨を撮像する検査です(1)。前立腺がんや乳がん、胃がんなどは造骨性の骨転移をきたすことが多いため転移部にRIが多く集まります(2)。

＜骨シンチグラフィ検査の当日の流れ＞

RIを投与するため静脈路を確保し、RIの投与を行います。RI投与後約2～3時間後に撮像を行います。撮像時間は約30分となっております。食事などの制限はないのですが検査する直前に排尿をお願いしています。膀胱の中に尿が溜まったまま撮像を行うとRIが膀胱内に溜まってしまい骨盤部の領域が観察しにくくなるためです。



(1) 正常例

(2) 骨転移症例

Perfusion CT 検査について

Perfusion CT (CT 灌流画像) は、従来の検査と違い組織の血流状態を評価する CT 検査です。特に脳卒中や虚血性疾患の診断において重要な役割を果たします。この技術は、脳内の血流動態を定量的に評価するために、造影剤を使用して同一部位を定時的にスキャンし、得られたデータを解析します。

主に以下の3つのパラメータを使用して脳の灌流状態を評価します。

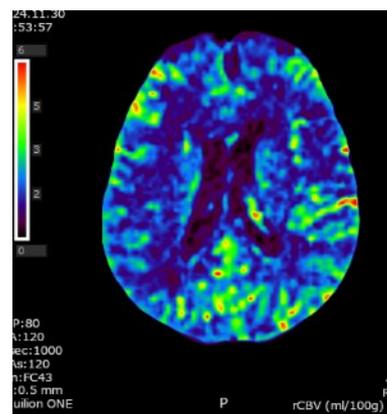
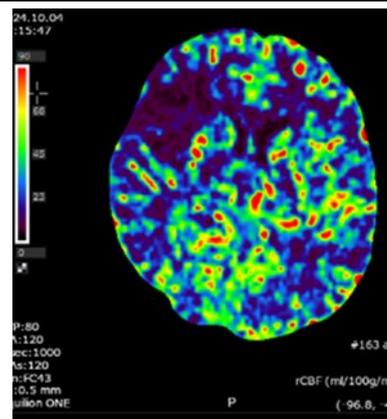
脳血流量 (CBF) : 単位時間あたりに脳組織に供給される血液の量。

脳血液量 (CBV) : 脳組織内に存在する血液の総量。

平均通過時間 (MTT) : 血液が脳組織内を通過する平均時間。

Perfusion CT は現代医療において非常に有用な技術となっております。特に急性期脳梗塞の場合、Perfusion CT は発症直後から虚血領域と正常領域を区別するため、迅速に重症度を評価できます。救急医療の現場において、その迅速かつ正確な診断能力は患者の予後改善につながる重要な要素となり、早急な治療方針決定に役立ちます。

また、Perfusion CT は急性期脳梗塞だけでなく、心筋虚血評価・肝臓や腫瘍の診断にも応用できます。特に腫瘍においては、良性と悪性の鑑別や治療効果判定に役立つ情報も得ることができます。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年の干支は巳年で、復活と再生を象徴する年です。私たちもこの一年を新たなスタートとし、今後も地域の皆様の健康に貢献できるよう、より一層役立つ情報を発信してまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします (田原)

放射線たより (Radiation News)

放射線科・放射線治療科・診療支援局放射線部門
発行責任者：中田耕平 (放射線センター センター長)
編集責任者：中前光弘 (放射線センター 副センター長)
編集委員：田原大世, 安永桂介, 池本達彦, 梅木拓哉,
今西麻梨子, 高橋美帆, 奥田響生, 山本佑樹

Vol.15 発行日：2025年1月1日